

# 令和5年度(2023年度) 希望の郷拠点事業計画

## [老人デイサービスセンター希望の郷]

### I. 事業方針

- (1) 一人ひとりを個人として尊重します。
- (2) 長年住み慣れた地域での生活の歴史を大切にします。
- (3) 利用者の個性とニーズに応える個別処遇を行います。
- (4) 充実感と満足感をえられるような支援を行います。
- (5) 医療機関や町村及び関係機関との緊密な連携体制を保ちます。
- (6) 利用者、家族との信頼関係を築きます。
- (7) 職員の介護力の強化、向上に努めます。
- (8) ケアプランに沿った通所介護計画や個別機能訓練計画、運動機能向上サービス計画を立て実施し、利用者様の自立に向けた生活機能の維持向上に努めます。

### II. 事業目標

#### 1. 利用者サービスの充実

現状の利用状況に合わせ定員を25名から20名に変更致します。

サービス内容の充実を図り、利用の満足度を上げ経営基盤の安定に繋がります。

在宅生活を継続するにあたって、地域での生活を重視したサービスの提供を行うことで自分らしくいきいきと自立した生活が送れるように支援致します。

	指標の名称	算出式	指標値
KGI (重要最終目標)	目標利用者数 (定員 20 名)	6,180 名 × 0.78	4,820 名

#### 2. 地域社会との関係性強化

地域ボランティアの受け入れや地域行事の参加、介護等の相談の受け入れをし、地域住民の多様なニーズに対応した地域に根ざした施設を目標にします。

	指標の名称	算出式	指標値
KGI (重要最終目標)	地域ボランティアの受入数	—	24 名

### 3. 生産性の向上

多職種連携の体制を整え、新たな加算取得をめざし、収益アップに努めます。また、人財育成による職員の業務遂行能力向上と業務の効率化を目指します。

KGI（重要最終目標）	指標の名称	算出式	指標値
	人時生産性	37,954千円÷17,231時間	2.20千円
	労働生産性	37,954千円÷9.05人	4,193千円

算出式：人時生産性＝付加価値額÷総所定労働時間

総所定労働時間＝所定労働日数（238日）×8H×総職員数（常勤換算数）

労働生産性＝付加価値額÷総職員数（常勤換算数）

## III. 事業計画

### [サービス計画]

#### 1. 利用者（入所者）計画

##### (1) 利用率・稼働率計画（令和5年度末）

定員数	計画数	利用率・稼働率 (KPI)
6,180名	4,820名	78%

開所予定日数 309日

1日定員数 20名

##### (2) 利用者構成計画（令和5年度末）

介護度・クラス別等	計画数	構成割合
健幸サロン	5名	9.0%
事業対象者	3名	5.5%
要支援1	3名	5.5%
要支援2	8名	15.0%
要介護1	20名	36.0%
要介護2	10名	18.0%
要介護3	3名	5.5%
要介護4	3名	5.5%
要介護5	0名	0.0%
計	55名	100.0%

## 2. サービス実施計画

### (1) 介護保険関係サービス

担当：看護職・介護職・リハビリ職・調理職

実施内容（具体的内容）	KPI	取得加算
介護本来の目的である利用者の自立を促すために、関係する専門職種で連携を図ることによりデイサービスの施設機能を十分に発揮します。自立支援に向けて取り組む管理的項目は以下のとおりとします。各管理項目においてマネジメントサイクル（PDCA）を展開することにより、ご利用者様の自立度を高めケアプランにおける生活目標の実現を図ります。		科学的介護推進体制加算

#### 〈自立支援ケア〉

実施項目	目的・実施内容	介護計画	KPI	関係加算
水分管理の実施	ご利用者様毎の最適水分摂取量をデータ把握し、毎回利用時に摂取していただくことにより心身状態の改善に繋がっていきます。	基本摂取量は1日1000mlとし、ご利用者様の状態に応じて目標摂取量を設定します。 ご利用者様に合った摂取方法を講じることにより実施目的の達成を図ります。	目標摂取量の達成 (100%)	
運動管理の実施	ご利用者様毎の最適な運動方法を把握し、毎回定期的の実施し、その状態をデータ管理することにより、可動域の改善に繋がっていきます。	ご利用者様の状態に応じた目標運動量・支援方法等を設定し、それにより可動域などの向上により目的の達成を図ります。	目標運動量の達成 (100%)	・個別機能訓練加算Ⅰ ・運動器機能向上加算 ・個別機能訓練加算Ⅱ ・ADL 維持加算
排泄管理の実施	ご利用者様毎の排泄リズムを把握し、トイレで排泄が行えるように支援します。	日中快適に過ごして頂けるようご利用者様の状態に応じた排泄目標、支援方法などを設定し実施目的の達成を図ります。		

体調維持・改善管理の実施	ご利用者様毎の健康状態をデータ管理し、病態の維持・改善に繋がっていきます。	バイタルチェックの実施・ご本人様やご家族様から体調や日頃の様子等聞き取り早期対応を図ります。	状態維持・改善率 (70%) 入院者数 (4%)	・ADL 維持等加算
入浴管理の実施	ご利用者様の健康促進を図る為入浴管理を実施します。	ご利用者様の状態に応じた入浴目標、支援方法などを設定し、実施目的の達成を図ります。	入浴率 (100%)	・入浴介助加算 I
口腔衛生管理の実施	ご利用者様の口腔状態を把握し、摂食状態の改善、感染症予防に繋がっていきます。	ご利用者様の口腔状態に応じた支援方法等を設定し実施目的の達成を図ります。		・口腔・栄養スクリーニング加算 (I)
実施方法：本人、家族、看護師、介護職、ケアマネと連携しながら利用者の状態管理をそれぞれの専門的立場から実施し、KPI の達成を目指します。				

〈認知症ケア〉

実施項目	目的・実施内容	介護計画	KPI	関係加算
認知度管理	認知症状のあるご利用者様に対して、ご家族の状況、ご利用者様の特質等考慮し、可能な限り在宅生活を維持できるように担当専門職員によるケアを個別的に実施します。	ケアプランによる介護計画においてご利用者様の状態に応じた認知改善目標を設定し実施目的の達成を図ります。		

〈給食・栄養ケア〉

実施項目	目的・実施内容	介護計画	KPI	関係加算
栄養管理	ご利用者様毎の摂食状況や毎月の体重測定から栄養状態をデータ管理すると共に、健康の維持、増進・栄養状態の改善に繋げ生活の質の向上を図ります。	ご利用者様の状態に応じた栄養目標を設定し実施目的の達成を図ります。		

(2) 介護保険外サービス（高齢者福祉事業所の場合）

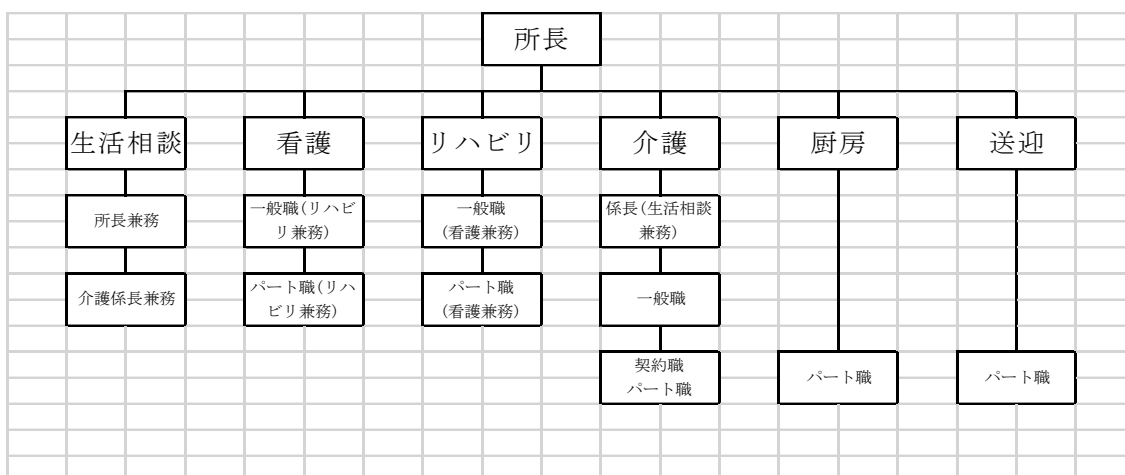
担 当：看護職・介護職・リハビリ職、調理職

< 健幸サロン事業 >

実施内容（具体的内容）	KPI
介護認定を受けていない方を対象に定期的に利用をすることで地域の方の憩いの場所の提供をします。また利用回数が決まっている介護予防・日常生活支援総合支援の方の追加利用で、在宅での生活が維持できるように機能訓練等のサービス提供を行います。	利用者数 5名を維持

3. 組織及び人員体制計画

(1) 組織体制図



(2) 人員体制計画（令和5年度末）

（単位：人）

役職名	令和4年度実績		令和5年度計画	
	正職	非正職	正職	非正職
所長	1 (0.5)		1 (0.5)	
生活相談員	(1.0)		(1.0)	
看護師	1 (0.5)	1 (0.2)	1 (0.7)	1 (0.3)
機能訓練指導員	(0.5)	(0.2)	(0.3)	1 (0.7)
介護員	2 (1.5)	6 (3.5)	2 (1.5)	5 (2.55)
厨房職員		4 (1.4)		4 (1.4)
運転手		1 (0.1)		1 (0.1)
計	4 (4.0)	12 (5.4)	4 (4.0)	12 (5.05)

\*カッコ内常勤換算数

管理者（所長）、生活相談員、看護師、機能訓練指導員は兼務。

[人財育成計画（研修計画）]

（１）事業所内研修

研修名	対象者	予定人員	研修内容
避難訓練・消火訓練	全職員	8名	火災時、安全に避難できるように訓練を行います。また、消火の仕方、消火器設置場所等再確認します。
認知症の理解	全職員	5名	認知症の利用者に対する適切なケアが行えるよう、認知症及び認知症ケアに関する知識や対応方法等の理解を深めます。
感染症対策について	全職員	5名	感染症・衛生管理の知識と心構えを学び、予防の重要性を再確認します。
送迎について	全職員	8名	安全に送迎が行えるようにマニュアルの再確認を行います。
救急法講習会	全職員	5名	心肺蘇生法等について学び、迅速に救急処置が行えるよう知識・技術を身につけます。
リスクマネジメント	全職員	5名	介護現場で生じる可能性のある事故を想定し、その対応方法を学び予防の重要性について再確認します。
虐待防止について	全職員	5名	マニュアルに沿って虐待防止と発見時の対応について再確認を行い、職員の共通認識を図ります。
サービス検討会	全職員	5名	年2回アンケートを実施し、それについて分析しサービス向上を図ります。
不審者対応について	全職員	8名	不審者の対応方法を学び、マニュアルの再確認を行ないます。

(2) 事業所外研修 (外部派遣研修)

研修名	対象者	予定人員	研修内容
認知症介護基礎研修	無資格者	2名	認知症介護について、基本的な知識・技術、実践する際の考え方を身につけます。
口腔ケア研修	一般職	1名	口腔ケアに関する基本的知識や技術を学び、疾患予防及び病状悪化防止に取り組みます。
OJT 推進研修	管理職 係長	2名	意欲を持って自律的に仕事をしていく職業人を育てる職場作りについて学びます。
指導的職員研修 I	係長	1名	「問題解決能力」を磨き平穏な職場とご利用者様が安心できる環境作りについて学びます。
指導的職員研修 II	係長	1名	業務の標準化(手順書作り)を進めサービスの質を支える土台作りについて学びます。
人権・権利擁護研修	係長 一般職	2名	福祉職員として身につけるべき高い人権意識の醸成を図ります。

(3) 事業所間研修

研修名	対象者	予定人員	研修内容
接遇・マナー研修	全職員	5名	日々の対応を振り返り、法人職員としての対応の在り方を理解し業務に反映させます。
ハラスメント研修	全職員	5名	ハラスメントをなくすことで一人ひとりの職員が相手を思いやり心の健康が維持できると共に職員環境づくりを行います。
人権擁護研修	全職員	5名	権利擁護と福祉従事者の役割、権利侵害としての虐待防止策を図ります。
虐待防止について	全職員	5名	虐待について多様な考えに触れると共に虐待に対する理解

			を深め、不適切なケアをなくします。
--	--	--	-------------------

### [地域との関係強化計画]

実施事項	実施内容（具体的内容）	KPI
ボランティアの受け入れと地域交流	地域住民及び学生ボランティア受け入れ、学生の職場体験の実施や保育所交流等も積極的に実施していきます。福祉課と連携を図り、体操やレクリエーション等の情報提供を行います。	

### [生産性向上計画]

#### (1) 新加算取得計画

取得加算（実績）	取得加算（計画）
入浴介助加算（Ⅰ）	入浴介助加算Ⅰ（既存）
個別機能訓練加算（Ⅰ）イ	個別機能訓練加算Ⅰイ（既存）
運動器機能向上加算	運動器機能向上加算（既存）
サービス提供体制強化加算Ⅲ	サービス提供体制強化加算Ⅲ（既存）
介護職員処遇改善加算Ⅰ	介護職員処遇改善加算Ⅰ（既存）
介護職員等特定処遇改善加算Ⅱ	介護職員等特定処遇改善加算Ⅱ（既存）
事業所評価加算	事業所評価加算（既存）
科学的介護推進体制加算	科学的介護推進体制加算（既存）
	個別機能訓練加算Ⅱ（新規）
	口腔・栄養スクリーニング加算Ⅰ（新規）
	ADL等維持加算（新規）

#### (2) 業務見直し計画

業務見直し計画	期待される成果
業務の明確化と役割分担	業務の明確化と役割分担の見直しによりムリ・ムダ・ムラを削減し業務の効率化を図り生産性に繋がります。

**[施設等整備計画]**

整備分類	実施内容	実施目的	実施時期
器具備品	デスクトップパソコン更新	OSが古いためサポートが終了します。そのためアップデートがなされずセキュリティが脆弱になる為。	4月
リース物件	ほぼほぼライセンス更新と取得	契約更新の為。 入力業務の重複を回避し業務の効率を上げる為。	5月
車両	送迎車両の購入	公用車(ワゴンR)が廃車となったため購入が必要。	4月
業務委託	樹木剪定作業	事業所周辺の美化整備の為。	4月

**「積立計画」**

(単位：千円)

積立目的	積立額
再建設	0
大規模修繕	0
その他	0
計	0

**[感染症・災害への対応力強化計画]**

感染症・災害への対応力を強化するため、BCPに基づくシミュレーションや訓練を実施します。

**[特記事項]**

特になし。

以上

# 令和5年度(2023年度) 桃源の家拠点事業計画

## 〔特別養護老人ホーム桃源の家〕

### I. 事業方針

- ・入居者の人格を尊重したサービスの提供に努めます。
- ・入院日数および退所後の空床日数を減らし、安定的な施設運営を目指します。
- ・職員一丸となったサービス提供に努めるとともに労働環境の改善も図ります。

### II. 事業目標

#### 1. 利用者サービスの充実

日常生活における介護を行う上で、入居者の能力に応じた自立支援介護を念頭に置き、自立した日常生活を営むことができることで、健康的な生活が送れるよう支援いたします。

KGI (重要最終目標指標)	指標の名称	算出式	指標値
	月平均稼働日数	年 32,120 日 ÷ 12 か月	2,676 日

#### 2. 地域社会との関係性強化

地域の方々とは包括的な社会形成を築いていくために、施設資源の活用やボランティアの受け入れなどを実施し、地域に理解される姿勢を強化するとともに、公益的事業の活動を積極的に実施、また活動内容を周知させていきます。

KGI (重要最終目標指標)	指標の名称	算出式	指標値
	オレンジカフェ・ひだまりサロン・ボランティアの月平均参加者	180 人 ÷ 12 か月	15 人

#### 3. 生産性の向上

目標稼働率を確保し、さらに新たな加算取得体制の構築により採算性アップに努めるとともに、多職種連携体制によりできる限り人員数を抑え収支の安定を図ります。

KGI (重要最終目標指標)	指標の名称	算出式	指標値
	人時生産性	397,798 千円 ÷ 152,129 時間	2.61 千円
	労働生産性	397,798 ÷ 79.9 人	4,978 千円

算出式：人時生産性＝付加価値額÷総所定労働時間

総所定労働時間＝所定労働日数（238日）×8H×総職員数（常勤換算数）

労働生産性＝付加価値額÷総職員数（常勤換算数）

### Ⅲ. 事業計画

#### [サービス計画]

#### 1. 利用者（入所者）計画

##### (1) 利用率・稼働率計画（令和5年度末）

定員数	計画数	利用率・稼働率 (KPI)
100名	32,120日	88%

##### (2) 利用者構成計画（令和5年度末）

介護度別	計画数	構成割合
要介護度3	28名	31.1%
要介護度4	30名	33.3%
要介護度5	32名	35.6%
計	90名	100%

#### 2. サービス実施計画

##### (1) 介護保険関係サービス

介護保険法の目的とすべく利用者の方の自立を図るためのサービス支援を行っていきます。そのために個々のサービス計画（ケアプラン）においてご利用者の方の生活目標を明確にし、それに基づく個別支援計画（具体的サービス実施計画）において、多職種連携を基本として、各専門職が具体的な支援目標及び支援内容等を決め、ケアプランにおける生活目標の実現を図ります。

各専門職の個別支援計画ではPDCAサイクルを展開することにより、適正なモニタリングを通じて支援目標の達成度を評価していきます。この評価結果により個別支援計画の支援内容等がサービス計画（ケアプラン）における生活目標の達成を実現できるものになっているのかをカンファレンス等を通じて評価検証していきます。

また、介護部門委員会、医療部門委員会及び給食委員会、安全管理部門委員会、入所判定委員会を設置し、現状把握と支援の在り方について、問題点の解明と課題解決のための具体策を協議し、支援サービスの向上に取り組んでいきます。

<自立支援ケア>

実施項目	目的・実施内容	個別支援計画	KPI	関係加算
水分管理の実施	利用者の意識・覚醒レベルを高めるために、最適な水分摂取量管理を実施する。	<p>基本摂取量は1日1500mlとし、ご利用者の状態に応じて目標摂取量を設定する。</p> <p>利用者に合った摂取方法を講じることにより実施目的の達成を図る。</p> <p>介護：目標数値を設定し、確実に実施できるチェック体制を作る。</p> <p>看護：医師との連携に努め水分制限が必要な方を把握する。（脱水に注意する）浮腫や体重の変化などの状態観察に努める。</p> <p>栄養：利用者の嗜好や嚥下状態に応じた飲料、ゼリーなどを提供。</p>	目標摂取量の達成 (100%)	・科学的介護推進体制加算
運動管理の実施	利用者の方の身体面、健康面を高めるために運動管理を実施する。	<p>ご利用者の状態に応じた目標運動量・支援方法等を設定し、それにより可動域等の向上により目的の達成を図る。</p> <p>リハビリ：個別機能訓練計画に基づきPDCAサイクルを展開する。</p> <p>看護・介護：目標数値を設定し、確実に実施できるチェック体制を作る。個々の</p>	目標運動量の達成 (100%)	<p>・個別機能訓練加算Ⅰ・Ⅱ</p> <p>・ADL維持加算（新規）</p>

		生活リハビリやユニット内での集団リハビリの定着・ユニットの枠を超えたいきいきクラス会などの参加者増加を目指す。		
排泄管理の実施	利用者の方の排泄状態の改善を図るために排泄管理を実施する。	<p>自律排泄によるオムツ着用率の減少を図るため、利用者の状態に応じた排泄目標、支援方法等を設定し、実施目的の達成を図る。</p> <p>排泄支援計画に基づき PDCA サイクルを展開する。</p> <p>看護：皮膚の清潔・保湿に努め、オムツによる皮膚トラブルを防ぐ。 介護：対象者を絞り一人ずつ日中トイレでの排泄を進める。</p>	終日オムツ着用率 10% 減	・排泄支援加算 I (新規)
褥瘡管理の実施	利用者の方の褥瘡発生を防止するために褥瘡管理を実施する。	<p>褥瘡リスクのある利用者に対し予防策を決定し、実施目的の達成を図る。</p> <p>褥瘡ケア計画に基づき、PDCA サイクルを展開する。</p> <p>栄養：血清アルブミン値や体重の変化を把握し、褥瘡発生リスクの高い利用者を見極める。 必要に応じて状態に合った栄養補助食品を提供する。</p> <p>看護：皮膚の状態の</p>	褥瘡発生率ゼロ	・褥瘡マネジメント加算 I・II

		<p>評価を行い、発生の防止を図る。 創部の清潔処置を行うことで早期治癒に努める。</p> <p>介護：入浴時など全身の状態の観察により、早期に発見、看護師に報告する。</p>		
入浴管理の実施	利用者の方の健康増進を図るため入浴管理を実施する。	<p>利用者の状態に応じた入浴目標、支援方法等を設定し、実施目的の達成を図る。</p> <p>介護：個浴・特殊浴、シャワー浴・清拭などの適切な介助により、安全で快適な環境のもと、清潔の保持、血行の促進、リラックス効果を高める。 週2回以上実施。全身の状態の確認 異状時の情報の共有を図る。</p> <p>看護：入浴前後の状態を確認し、安全な入浴ができるようにする。</p>	入浴率 100%	
<p>具体的な実施内容及び実施方法は個別支援計画に定める。 KPI 達成を図るために個別支援計画に係る業務計画を作成し、職員の業務分担（役割分担）を明確にするとともに、業務のスケジュール化を行う。 自立支援介護に係る専門委員会を1カ月ごとに開催し、KPI の達成度の評価、サービス提供加算取得における問題点及び課題について検討し、課題の解決に取り組む。</p>				

<認知症ケア>

実施項目	目的・実施内容	個別支援計画	KPI	関係加算
認知度管理	利用者の方の認知症状の改善を図り、QOLを高めるための管理を実施する。	<p>利用者の状態に応じた認知改善目標を設定し、実施目的の達成を図る。</p> <p>介護：レクリエーション・季節行事・外出支援・交流活動などを実施する。</p> <p>看護：外出時等は医師の許可が必要な場合があり、連携をとる。</p> <p>リハビリ：長谷川式スケールを利用し、認知度の経過を観察。</p> <p>栄養・調理：行事食の提供ユニットでの調理実習の協力。</p>	日常生活自立度判定レベルの改善 判定レベル最上位 I90～最下位 M0とし、その変動の累計結果 I90 からⅡ80 に低下した場合は-10、更にⅡ a70 に低下した場合は-10 で累計-20	
<p>具体的な実施内容及び実施方法は個別支援計画に定める。</p> <p>KPI 達成を図るために個別支援計画に係る業務計画を作成し、職員の業務分担（役割分担）を明確にするとともに、業務のスケジュール化を行う。</p> <p>認知症ケアに係る専門委員会を1カ月ごとに開催し、KPIの達成度の評価、サービス提供加算取得における問題点及び課題について検討し、課題の解決に取り組む。</p> <p>職員の認知症対応力を向上させるため認知症介護実践リーダー研修修了者を現在の2名からユニット毎に配置できるよう進める。</p>				

<給食・栄養ケア>

実施項目	目的・実施内容	個別支援計画	KPI	関係加算
栄養管理	<p>利用者の方の健康維持・増進を図るため栄養管理を実施する。</p>	<p>利用者の状態に応じた栄養目標を設定し、実施目的の達成を図る。</p> <p>栄養：栄養ケア計画に基づきPDCAサイクルを展開する。</p> <p>BMI や血清アルブミン値、食事摂取量、体重の減少などから栄養状態のリスクを判定する。</p> <p>旬の食材や季節の行事にちなんだ献立を立案・提供をする。必要に応じ、食品補助食品を利用する。</p> <p>介護・看護・栄養・調理：嚥下、かみ碎きなどの状態を確認し、常食化の取組みを推進する。</p> <p>看護：医師との連携を図り、状態の悪化を防ぐ。</p>	<p>毎月の栄養スクリーニングによる低栄養状態リスク度の改善率、評価は以下のとおり。</p> <p>低リスク 100 中リスク 50 高リスク 0</p> <p>高リスクから中リスクに改善した場合は改善率 50% 逆に中リスクから高リスクに悪化した場合は -50%</p> <p>低リスク維持の改善率は 100%</p> <p>毎月スクリーニングの累積結果とする。</p>	<p>・栄養マネジメント強化加算</p> <p>・再入所時栄養連携加算</p> <p>・経口維持加算（新規）</p>

口腔衛生管理	利用者の方の健康維持・増進を図るため、口腔状態の管理を実施する。	<p>定期的な歯科医師・歯科衛生士訪問による口腔指導の実施。</p> <p>入居者ごとの口腔状態を管理し食事摂取の改善（誤嚥防止）に繋げる。</p> <p>看護・介護：口腔内のアセスメントの実施。口腔ケア実施。歯科受診介助。</p> <p>栄養：口腔内の残差物が残りにくい食事形態や、口腔、咽頭に残留しにくいトロミの硬さの統一を図る。</p>	<p>義歯調整、作成のための歯科受診率 100%</p> <p>誤嚥事故発生率ゼロ</p> <p>常食率 10% 増</p> <p>感染症発生ゼロ</p>	
<p>具体的な実施内容及び実施方法は個別支援計画に定める。</p> <p>KPI 達成を図るために個別支援計画に係る業務計画を作成し、職員の業務分担（役割分担）を明確にするとともに、業務のスケジュール化を行う。</p> <p>歯科医師、歯科衛生士による口腔指導を月 1 回実施する。</p> <p>給食に係る専門委員会を 3 カ月ごとに開催し、KPI の達成度の評価、サービス提供加算取得における問題点及び課題について検討し、課題の解決に取り組む。</p>				

< 体調維持支援 >

実施項目	目的・実施内容	個別支援計画	KPI	関係加算
健康管理	利用者の方の健康維持・増進を図るため体調管理を実施する。	<p>多職種間の連携を図り、状態の安定を図る。</p> <p>異状の早期発見により、入院者、入院日数の減少を図る。</p>	入院者ゼロ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配置医師緊急時対応加算</li> <li>・自立支援促進加算（新規）</li> <li>・ADL 維持</li> </ul>

		<p>看護・介護： 日々の健康チェックを日に2回以上実施する。</p> <p>栄養：状態に応じた食事の提供。</p> <p>嘱託医との相談、連絡、報告を密に行う。 ・内科診察週2回 ・精神科診察月1回 ・健康診断及び結核検診年1回</p>		加算（新規）
看取りケア	身体的・精神的苦痛の緩和または軽減を図り、人生の最期まで尊厳ある生活支援を実施する。	<p>本人、家族の意向を確認し、看取り介護計画に基づきPDCAサイクルを展開する。</p> <p>生活相談員・介護支援専門員：ご本人・ご家族の不安な気持ちを汲み取り、納得できる最期が迎えられるよう多職種間での連携を密にする。</p> <p>栄養：食事が苦痛にならない様、少量でも口においしく、嚥</p>	看取りケア対象者20%	・看取り介護加算

		下に無理のない食事・水分を提供する。  看護・介護： 医師の指示を受け、疼痛緩和のための処置、こまめな状態把握に努め、最期まで寄り添う介護に徹する。		
<p>具体的な実施内容及び実施方法は個別支援計画に定める。</p> <p>KPI 達成を図るために個別支援計画に係る業務計画を作成し、職員の業務分担（役割分担）を明確にするとともに、業務のスケジュール化を行う。</p> <p>医療部門委員会を3か月ごとに開催し、KPIの達成度の評価、サービス提供加算取得における問題点及び課題について検討し、課題の解決に取り組む。</p>				

<入退所サービス>

実施項目	目的・実施内容	個別支援計画	KPI	関係加算
入退所管理	利用者のニーズに応じた入退所の適切な手続きを丁寧、迅速に実施すると共に、稼働率の安定に繋げる。	個別事情に配慮しながら、入退所のニーズに迅速かつ適切に対応する。  (入所) 家族の介護負担軽減に配慮し、環境の変化による利用者の心理的ストレスをできるだけ軽減できるように、入所の意向確認を早めに行うと共に空床数を減らす。 退所についてはご本人の家族の意向に沿えるよう相談の機会を設け、当施設で	退所後空床日数7日以内	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初期加算</li> <li>・外泊時・入院時加算</li> <li>・認知症行動・心理症状緊急対応加算</li> <li>・若年性認知症入居者受入加算</li> </ul>

		の看取り介護に繋げる。		
		(退所) 利用者の退所後の在宅等での生活に支障が出ないように各関係機関との調整、連絡等の相談支援を実施する。また、在宅・入所相互利用制度を利用者のニーズに応じて実施していく。  関係機関との連携を密に行い待機者の獲得に努める。	待機者月 20 名以上の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・退所前後訪問相談援助加算</li> <li>・退所時相談支援加算</li> <li>・退所前連携加算</li> <li>・在宅復帰支援機能加算</li> <li>・在宅・入所相互利用加算</li> </ul>
<p>具体的な実施内容及び実施方法は個別支援計画に定める。</p> <p>KPI 達成を図るために個別支援計画に係る業務計画を作成し、職員の業務分担（役割分担）を明確にするとともに、業務のスケジュール化を行う。</p> <p>入所判定委員会を随時開催し、KPI の達成度の評価、サービス提供における問題点及び課題について検討し、課題の解決に取り組む。</p>				

<安全対策実施>

実施項目	目的・実施内容	個別支援計画	KPI	関係加算
安全対策管理	利用者の方の安全安心な生活継続のため事故発生を未然に防ぐ。	施設内研修による事故防止対策と、ヒヤリハット事例に基づくリスクの排除を徹底し事故を未然に防ぐ。 身体拘束については、実施の必要性がある場合は取り決めに基づいた実施とする。虐待については、虐待防止チェック	報告義務に該当する事故発生件数ゼロ ヒヤリハット件数月 20 件（各ユニット）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全対策体制加算</li> </ul>

		を定期的に実施し虐待に繋がらうる行為の排除に努める。		
<p>具体的な実施内容及び実施方法は個別支援計画に定める。</p> <p>KPI 達成を図るために個別支援計画に係る業務計画を作成し、職員の業務分担（役割分担）を明確にするとともに、業務のスケジュール化を行う。</p> <p>安全管理部門委員会を1か月ごとに開催、身体拘束・虐待に関しては3か月ごとに開催し、KPI の達成度の評価、サービス提供加算取得における問題点及び課題について検討し、課題の解決に取組む。</p>				

(2) 介護保険外サービス

担当：看護・介護・リハビリ

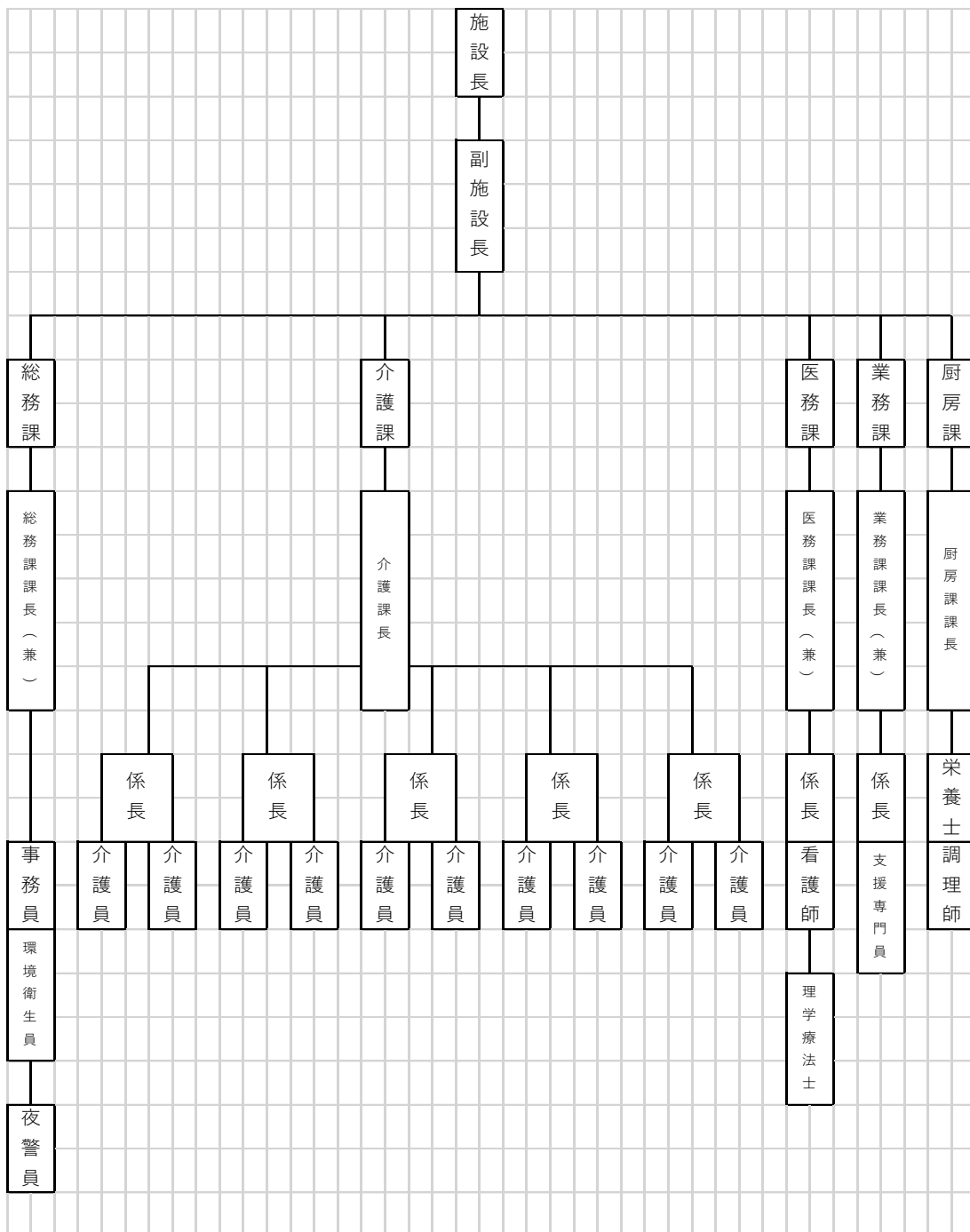
<公益事業>

実施内容	目的・実施内容	個別支援計画	KPI
オレンジカフェの実施	<p>認知症になっても安心して暮らすことができる地域づくりに貢献する。</p> <p>町の委託を受け、認知症の方およびその家族をはじめ地域の方々が気軽に集うことができる場を提供し、認知症に関する情報交換や交流により孤立・閉じこもりの防止、負担感の軽減を図る。</p>	<p>ミニ体操の実施や相談事などを一緒に考えることで不安、孤独感等を解消することを目的に月1回実施する。</p> <p>(石見地域対象)</p> <p>内容は以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症の方及びその家族に対する支援。</li> <li>・認知症に関する勉強会・相談会の開催。</li> <li>・認知症の啓発や支え合いの推進。</li> </ul>	参加者年間延べ180名
ひだまりサロンの実施	<p>地域の高齢者の方々に集いの場の提供や、活動内容をサポートすることにより、絆と連帯感を深め、心の活力と生活力の向上を図ってもらうことにより、高齢者の方々がいきいきと暮らすことが</p>	<p>地域の高齢者団体が行うサロン活動の場の借用料や活動費用等を助成する。活動の場へ職員を派遣し活動のサポートを行う。</p>	

<p>苦情解決・相談対応</p>	<p>できる地域づくりに貢献する。</p> <p>サービスの質や信頼性の向上を図るため、利用者、家族、関係機関、地域住民からの声を聴く取り組みを実施する。</p>	<p>町からの介護相談員派遣を受け入れ、入居者の不満や疑問等を聞き取り迅速かつ的確に対応する。円滑な解決を図るために第三者委員を置く。</p> <p>アンケートを実施する。(利用者、家族、関係者)</p>	
------------------	---	--	--

### 3. 組織及び人員体制計画

#### (1) 組織体制計画



## (2) 人員体制計画 (令和5年度末)

(単位:人)

役職名	令和4年度実績				令和5年度計画			
	正職		非正職		正職		非正職	
施設長	1	(0.9)			1	(0.9)		
副施設長	1	(0.2)			1	(0.2)		
課長	3	(3.8)			2	(2.8)		
看護師	3	(3.0)	3	(2.1)	3	(3.0)	3	(2.0)
生活相談員	1	(0.9)			1	(0.9)		
介護支援専門員	2	(2.0)			2	(2.0)		
介護員	30	(30)	30	(20.1)	30	(30)	32	(24.5)
理学療法士	1	(0.9)			1	(0.9)		
管理栄養士	1	(1.0)			1	(0.9)		
栄養士	1	(0.9)						
調理員	4	(4.0)	4	(3.1)	4	(4.0)	4	(3.1)
事務員			1	(1.0)			1	(1.0)
環境・夜警員			10	(4.1)			7	(3.7)
計	48	(47.6)	48	(30.4)	46	(45.6)	47	(34.3)

## カッコ内常勤換算数

施設長はショート兼務 (0.1人分)

副施設長は看護・業務・総務課長兼務 (0.8人分)

業務係長はショート生活相談員兼務 (0.1人分)

リハビリ職1名はショート兼務 (0.1人分)

管理栄養士はショート兼務 (0.1人分)

医師は嘱託のため人員体制に換算せず

[人材育成計画（研修計画）]

（１）事業所内計画

研修名	対象職員	予定人員	研修目的
接遇・マナー研修	全職員	90名	利用者の尊厳を守り信頼関係の構築を図り、サービス提供者としてのスキルを磨き、実践する。
事故防止研修	全職員	30名	事故事例からの発生原因の究明や予防策などを検討し事故防止に繋げると共に、発生時および事故後の対応について研鑽を深める。
感染症研修	全職員	30名	感染症に関する知識の習得と感染防止策の実施および手順などの認識を深める。
救急法講習会	全職員	30名	迅速な救急処置が行えるよう心肺蘇生法、ADE 使用法について学ぶ。
身体拘束 虐待防止研修	全職員	30名	身体拘束・虐待に関する取り決めや、その行為になりうる介護についての認識を深め、適切な介護に努める。
人権擁護研修	全職員	30名	尊厳保持と自己決定を尊重した介護の実践に生かす。
認知症研修	全職員	30名	認知症状や行動のメカニズムを習得し、それに対する対応方法などについて事例を基に考え日々の業務に生かす。
看取り研修	全職員	30名	最期まで尊厳を保つケアについて多職種で共通認識を深め、適切な介護に努める。
排泄研修	看護職 介護職	30名	残存機能を生かした介助方法と、できる限りトイレでの排泄を促す方法の習得を学ぶ。

（２）事業所外研修（外部派遣研修）

研修名	対象職位	予定人員	研修目的
中国老施協研修	管理監督職 一般職	3名	中国地区の高齢者施設における取組や実践事例を学ぶ。研究発表をする。
県老施協研修	管理監督職 一般職	3名	県内の高齢者施設における取組や実践事例を学び、施設内に取り入れる。
認知症ケア研修 認知症実践者研修	係長 一般職	2名	加算取得要件に必要な研修やその他自己研鑽を図る目的の研修に参加する。

メンタルヘルス研修	係長 一般職	2名	ストレスをため込まないための環境作りや、職場環境整備について学ぶ。
人権・権利擁護研修	係長	2名	権利擁護について知識を習得し、利用者権利を踏まえたサービス提供を実践する。
認知症介護基礎研修	無資格者	5名	介護の基礎的サービスの提供のため、認知症介護の知識、技術を身につける。
喀痰・吸引等研修	介護係長 一般職	5名	呼吸困難時の救急対応や感染症の予防のため、現場の介護職員が必要な知識、技術を身につける。
OJT 推進研修	係長、課長	2名	人材育成を推進する重要性を認識し、具体的な育成方法を学ぶ。
指導的職員研修 I・II	係長	2名	業務の手順書作りによる利用者サービスの質の向上の実現、手順書作りの活動実践について学ぶ。
リスクマネジメント研修 I・II	管理職	2名	利用者の安全を最大の目的とし、サービスの質及び満足度の向上を目指し、クレーム対応に必要なスキルや、リスク管理について学ぶ。
介護職員初任者研修	一般職	1名	介護職員としての基本的知識、技術を学ぶ。

#### [地域との関係強化計画]

実施事項	実施内容（具体的内容）	KPI
公益事業の推進	地域貢献を目的とした「認知症カフェ」「ひだまりサロン」事業をより拡大させるための広報活動を行い活動内容の周知に努め、参加者の増員を図る。	年間参加者 180 人
ボランティア交流	ボランティアの方々によるお茶会の実施や音楽活動を実施する。 学生の職場体験や保育所との交流も積極的に行う。	毎月 1 回実施

[生産性向上計画]

(1) 事業規模拡大計画

(2) 稼働率向上計画

	令和5年度
定員数	100人
稼働率	88%

(3) 新規加算取得計画

取得加算（実績）	取得加算（計画）
<p>（既存）</p> <p>看護体制加算Ⅰ 看護体制加算Ⅱ 栄養マネジメント強化加算 療養食加算 看取り介護体制加算Ⅰ 介護職員処遇改善加算Ⅰ 介護職員等特定処遇改善加算Ⅰ 初期加算 外泊時・入院時加算 安全対策体制加算 個別機能訓練加算Ⅰ 個別機能訓練加算Ⅱ 日常生活継続支援加算Ⅱ 科学的介護推進体制加算 配置医師緊急時対応加算 個別機能訓練加算Ⅰ・Ⅱ 褥瘡マネジメント加算Ⅰ・Ⅱ 再入所時栄養連携加算 夜勤配置職員加算</p> <p>（対象の方があった場合） 若年性認知症入居者受入加算 退所前後訪問相談援助加算 退所前連携加算 退所時相談支援加算 在宅復帰支援機能加算 在宅・入所相互利用加算 認知症行動・心理症状緊急対応加算</p>	<p>（既存）</p> <p>看護体制加算Ⅰ 看護体制加算Ⅱ 栄養マネジメント強化加算 療養食加算 看取り介護体制加算Ⅰ 介護職員処遇改善加算Ⅰ 介護職員等特定処遇改善加算Ⅰ 初期加算 外泊時・入院時加算 安全対策体制加算 個別機能訓練加算Ⅰ 個別機能訓練加算Ⅱ 日常生活継続支援加算Ⅱ 科学的介護推進体制加算 配置医師緊急時対応加算 個別機能訓練加算Ⅰ・Ⅱ 褥瘡マネジメント加算Ⅰ・Ⅱ 再入所時栄養連携加算 夜勤配置職員加算</p> <p>（新規） 経口維持加算 ADL維持等加算Ⅰ 自立支援促進加算 排泄支援加算Ⅰ</p>

(4) 業務見直し計画

業務見直し計画	期待される成果
○人員配置の整備	○職種間の連携・協力をより強固にし、多職種の短時間の業務支援などにより、必要最低限での人員体制とし、生産性を上げる。
○インカムや介護ロボット導入による職場環境の整備	○部署間および施設内連絡、情報共有をスムーズに行い、業務を無駄なく効率よく実施し、生産性を上げる。また利用者の方の安全安心な環境整備により、稼働率の向上を図る。

[施設等整備計画]

整備分類	実施内容	実施目的	実施時期
器具備品	(介護ロボット)浴室手動式入浴リフト	利用者の方の安全・安心の確保と職員の業務負担軽減・効率化を図る。	2月
器具備品	洗面台給湯器更新 10台	経年劣化のため更新し、安全にお湯を供給する。	7月
器具備品	電解水生成装置更新	経年劣化のため更新し、食材の安全な洗浄を行う	6月
器具備品	パソコン1台 (厨房課)	栄養ソフトと連動させ、栄養マネジメント業務に使用する。	5月
修繕	スチームコンベクション(厨房)	部品の交換を行い、安全・安心な食事の提供を行う。	6月
修繕	プラスチックラー(急速冷却器)(厨房)	部品の交換を行い、安全・安心な食事の提供を行う。	7月
修繕	食器洗浄機(厨房)	部品の交換を行い、業務の効率化を図る。	7月
職員用住宅整備	職員用住宅の建設(1棟2戸)	地域外からの職員確保を図るために、住宅を整備する。	

[積立計画]

(単位：千円)

積立目的	積立額
再建設	4,000
大規模修繕	550
その他	450
計	5,000

[感染症・災害への対応力強化計画]

感染症・災害への対応力を強化するため、BCPの基づくシミュレーションや訓練を実施します。

**[特記事項]**

経営安定化と社会的課題(CO<sub>2</sub>削減等)へ対処するため、電源構成等に係る協議委員会を設置し、総合的な省電力化策を協議・検討致します。

以上

## 〔老人短期入所特別養護老人ホーム桃源の家〕

### I. 事業方針

- ・利用者の人格を尊重し、安全安心なサービス提供に努めます。
- ・利用者および家族との意思疎通を図り、意向に沿ったサービスを提供します。
- ・定期利用者の拡大、関係機関との情報共有を通じて新規利用者の開拓に努めます。

### II. 事業目標

#### 1. 利用者サービスの充実

在宅サービスを支える事業所としての役割を果たすべく、できる限り利用者の希望に沿った利用調整や急な利用についてもしっかりと対応できる環境作りと、在宅生活の延長を念頭としたサービス提供に努めます。

KGI（重要最終目標指標）	指標の名称	算出式	指標値
	月平均利用日数	年 3,285 日 ÷ 12 か月	273 日（稼働率 90%）

#### 2. 地域社会との関係性強化

地域包括ケアシステム構築の推進のため、居宅介護支援事業所、他のサービス事業所等との連携を密に行い、個別のニーズに迅速、丁寧に対応するなど、地域課題に沿った事業展開に努めます。

KGI（重要最終目標指標）	指標の名称	算出式	指標値
	月平均新規利用者数	年 24 人 ÷ 12 か月	2 人

#### 3. 生産性の向上

平均稼働率 90%を目標とし、定期利用者の拡大を図るとともに、居宅介護支援事業所、医療機関等との情報共有を通じて新規利用者の開拓に努めます。

KGI（重要最終目標指標）	指標の名称	算出式	指標値
	人時生産性	33,802 千円 ÷ 12,756 時間	2.64 千円
	労働生産性	33,802 千円 ÷ 6.7 人	5,045 千円

算出式：人時生産性＝付加価値額 ÷ 総所定労働時間

総所定労働時間＝所定労働日数（238 日）× 8H × 総職員数（常勤換算数）

労働生産性＝付加価値額 ÷ 総職員数（常勤換算数）

### Ⅲ. 事業計画

#### [サービス計画]

##### 1. 利用者（入所者）計画

###### (1) 利用率・稼働率計画（令和5年度末）

定員数	計画日数	利用率・稼働率（KPI）
10名	毎月273日	90%

###### (2) 利用者構成計画（令和5年度末）

介護度別	計画日数	構成割合
要支援者	0日	0%
要介護度1	50日	18.5%
要介護度2	130日	48.2%
要介護度3	68日	24%
要介護度4	25日	9.3%
要介護度5	0日	0%
計	273日	100%

##### 2. サービス実施計画

###### (1) 介護保険関係サービス

担当部門：看護・介護・リハビリ・給食・業務

###### <自立支援ケア>

実施項目	目的・実施内容	個別支援計画	KPI	関係加算
日常生活支援	在宅生活継続のため自立支援を念頭に置き、心身機能維持・向上のためのサービスを実施する。	ご利用者の在宅での生活レベルを維持、向上できるように、個別援助計画書に沿った支援を実施する。  看護・介護：家族、サービス事業所との情報共有を密に行う。 食事～利用者の病状・嗜好や嚥下状態に応じた食事と、利用者にあった水分摂	状態維持率 100%	・生活機能向上連携加算  ・個別機能訓練加算  ・若年性認知症加算  ・療養食

		<p>取量を提供する。</p> <p>排泄・入浴～安全で快適な環境の下、プライバシーに配慮しながら実施する</p> <p>運動～個々の状態に応じた運動・体操をリハビリ職と連携し実施する。</p> <p>余暇活動～趣味や特技を生かした作業、他利用者様との交流などの実施。</p> <p>相談員・介護支援専門員：利用中の状態の確認、家族、関係機関との調整、連携を図る。</p>	加算
--	--	--	----

< 緊急対応 >

実施項目	目的・実施内容	個別支援計画	KPI	関係加算
緊急支援	認知症状等在宅生活での対応が急に難しくなるケースに対応し、家族等の生活支援を実施する。	緊急対応の依頼があった場合は、関係する機関と迅速な連携を図り、スムーズな受け入れができるよう努める。多職種の連携を密にする。		<p>・認知症行動・心理症状緊急対応加算</p> <p>・緊急短期受入加算</p>

(2) 介護保険外関係事業

< 苦情解決・相談 >

\* 桃源の家事業計画と同じ。

### 3. 組織及び人員体制計画

#### (1) 組織体制計画



#### (2) 人員体制計画 (令和5年度末)

役職名	令和4年度実績		令和5年度計画	
	正職	非正職	正職	非正職
施設長	(0.1)		(0.1)	
生活相談員	(0.1)		(0.1)	
看護職員				1 (0.5)
介護職員	1 (1.0)	6 (3.15)	2 (2.0)	5 (2.8)
機能訓練員	(0.1)		(0.1)	
管理栄養士			(0.1)	
栄養士	(0.1)			
調理員		1 (1.0)		1 (1.0)
計	1 (1.4)	7 (4.15)	2 (2.4)	7 (4.3)

\*カッコ内は特養との兼務等による常勤換算数

#### [生産性向上計画]

##### (1) 稼働率向上計画

	令和5年度
定員数	10人
稼働率	90%

(2) 新規加算取得計画

取得加算（実績）	取得加算（計画）
<p>(既存)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若年性認知症加算</li> <li>・ 送迎加算</li> <li>・ 療養食加算</li> <li>・ サービス提供体制強化加算Ⅲ</li> <li>・ 介護職員処遇改善加算Ⅰ</li> <li>・ 介護職員等特定処遇改善加算Ⅱ</li> <li>・ 夜勤職員配置加算</li> <li>・ 認知症行動・心理症状緊急対応加算</li> <li>・ 緊急短期受入加算</li> </ul>	<p>(既存)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若年性認知症加算</li> <li>・ 送迎加算</li> <li>・ 療養食加算</li> <li>・ サービス提供体制強化加算Ⅲ</li> <li>・ 介護職員処遇改善加算Ⅰ</li> <li>・ 介護職員等特定処遇改善加算Ⅱ</li> </ul> <p>(新規)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機能訓練体制加算</li> <li>・ 個別機能訓練加算</li> <li>・ 生活機能向上連携加算</li> <li>・ 医療機関連携加算</li> <li>・ 看護体制加算</li> </ul>

その他は特別養護老人ホーム桃源の家の事業計画と同様。

以上

# 令和5年度(2023年度) 香梅苑拠点事業計画

[養護老人ホーム香梅苑・特定施設入居者生活介護事業所]

## I. 事業方針

その人らしく、元気で、笑顔あふれる生活が継続できるよう、入居者様の立場に立ち尊厳を守りながら、常に自立を目指した取り組みを行うとともに、福祉施設としての役割を果たすべく施設の専門性を活かし、地域福祉の増進に努めます。

## II. 事業目標

### 1. 利用者サービスの充実

個々の人格と個性を尊重し、介護技術の進歩に対応したサービスを提供し、自立した生活を営むことができるよう支援します。

科学的根拠に基づく「自立支援介護」を推し進め、その介護技術の定着を図ることにより本質的な人間の尊厳を重視したサービスの充実・強化を目指します。

KGI(重要最終目標指数)	指標の名称	算出式	指標値
	月平均在籍日数	年 17,885 日 ÷ 12 か月	1,490 日 (稼働率 98%)

### 2. 地域社会との関係性強化

保護施設として入居者の生きがいの高揚や社会復帰に向けての自立意欲の向上のため、地域との関係の維持、継続を図ります。また、施設が持つ専門的知識や技術などを活かすため、地域住民、ボランティア、学校、行政、医療及び福祉関係者との連携を強化し、災害時などにおける要支援者の支援ネットワーク等、地域に根ざした施設づくりを目指します。

KGI(重要最終目標指数)	指標の名称	算出式	指標値
	町内住民などの受け入れ数	100 人 ÷ 12 × 3	四半期 25 人
	施設外活動参加人数	100 人 ÷ 12 × 3	四半期 25 人

### 3. 生産性の向上

専門職としての知識及び技術の向上により業務遂行能力を高め、また新たな加算取得による収入増を図るため取得要件を満たすための整備に努めます。

KGI(重要最終目標 指数)	指標の名称	算出式	指標値
	人時生産性	167,640 千円 ÷ 49,504 時間	3.386 千円
	労働生産性	167,640 千円 ÷ 26 人	6,447 千円

算出式：人時生産性＝付加価値額 ÷ 総所定労働時間

総所定労働時間＝所定労働日数(238日) × 8H × 総職員数(常勤換算数)

労働生産性＝付加価値額 ÷ 総職員数(常勤換算数)

## III. 事業計画

### [サービス計画]

#### 1. 利用者(入所者)計画

##### (1) 利用率・稼働率計画(令和5年度末)

定員数	計画数	利用率・稼働率 (KPI)
18,250名	17,885名	98%

##### (2) 利用者構成計画(令和5年度末)

介護度	計画数	構成割合
自立	17名	34%
要支援1	0名	0%
要支援2	0名	0%
要介護1	18名	36%
要介護2	15名	30%
要介護3	0名	0%
要介護4	0名	0%
要介護5	0名	0%
計	50名	100%

#### 2. サービス実施計画

養護老人ホームの保護施設としての役割を再認識し、施設が持つ専門的な知識や技術などを活かし、施設と地域との交流を促進することにより利用者の生きがい高揚や家庭復帰、社会復帰に向けての自立意欲の助長を図るとともに、一人ひとりの状態に応じた趣味活動やクラブ活動を通して楽しみのある生活の場を提

供する施設サービスを行います。

また、個々の介護サービス計画においては、ご利用者の方々の生活目標を明確にし、それに基づく個別支援計画において多職種連携を基本として、各専門職が具体的な支援目標及び支援内容等を決め、ケアプランにおける生活目標の実現を図るため、各支援に於いて関係する委員会で目標達成の検証・問題点の把握及び改善策について検討し実施することにより介護サービスの向上を図ります。

サービス内容の実施については、以下の取り組みを各職種が連携して実施いたします。

#### <自立生活支援サービス>

担当職種：嘱託医・看護師・支援員(介護員)・生活相談員・介護支援専門員・訓練指導員の連携により実施します。

関係委員会：自立支援介護委員会、事故防止委員会、感染予防対策委員会  
(各委員会毎月1回開催)

実施内容（具体的内容）	個別支援計画	KPI	取得加算
自立した日常生活を営むことができるように社会復帰の促進及び自立のために必要な指導、訓練等の支援を実施する。	軽作業等の場を提供し、自立した生活を促す支援を行う。 また地域行事等への参加の促進。		・措置費、 管理費加算
<p>&lt;余暇活動等参加の支援&gt;</p> <p>利用者からの要望や趣味・特技等を生かした様々なクラブ活動を提供し、生活意欲及び生活の質の向上を図る。</p> <p>&lt;必需品購入等の支援&gt;</p> <p>必要な物品を購入するための外出支援、または出張販売を依頼し施設内でも購買機会を提供するなど日常生活の円滑化を図る</p> <p>&lt;苦情・要望の解決&gt;</p> <p>日々利用者からの苦情・要望等を積極的に聞き早期解決に努める。 受け付け内容については、PC内の「苦情・要望」項目欄へ入力し確認</p>	<p>実施活動の提供と活動的な生活支援に繋げる。</p> <p>外出機会を提供し自らの必需品購入を行う。</p>	<p>参加率 100%</p>	

<p>する。サービス内容については生活相談員によるアンケート実施を定期的に行い、要望を把握し改善に繋げる。内容によっては第三者委員の方々に相談し適切な対応を図る。</p>			
<p>&lt;体調管理支援&gt; 看護師による毎日の健康チェックと嘱託医による定期診察及び年2回の健康診断の実施にて入居者個々の状態把握を行い体調変化の早期発見と、適度な水分と運動量の確保に努め入院者及び入院日数の減少を図る。</p>	<p>既往歴や疾病管理 診断結果などの情報管理。</p>	<p>年間延べ入院日数を50%減とする。 (前年度比較)</p>	<p>・科学的介護推進加算 ・夜間看護体制加算 ・退院・退所時連携加算</p>
<p>&lt;水分摂取支援&gt; 1日の目標水分量摂取のために、1日8回の水分摂取時間を設け、日勤者及び夜勤者にて摂取の呼びかけ及び介助を行う。(起床時、毎食事、10時、15時、ウォーキング時、入浴前後、就寝時)</p>	<p>1日の基本摂取量を1.500ml(制限のない方)とし、状態に応じて摂取量を設定する。</p>	<p>1.500ml以上摂取者割合100%とする。</p>	
<p>&lt;運動能力向上支援&gt; 毎日のラジオ体操と苑内ウォーキングを実施し、日常生活に於いて運動能力の維持・向上を図る。(体操、ウォーキング各毎日2回実施。)暖かく天気の良い日は苑外散歩も実施する。</p>	<p>運動実施内容及び実施方法を設定し個別機能訓練計画を作成する。</p>		<p>・個別機能訓練加算</p>
<p>&lt;排泄管理支援&gt; 水分摂取の促しや運動量を増やすことで、自然排便者の割合を増や</p>	<p>個々の排泄状態や支援方法を設定す</p>	<p>下剤服用者割</p>	

<p>す。日勤帯に於いて日々の排泄チェック表を確認し、便秘気味の方へは状況に応じて看護師指示の下、下剤投与等で調整し排便を促す。</p> <p>&lt;口腔衛生支援&gt;          歯科衛生士指導の下、入居者個々の口腔状態の把握を行い、個別支援計画の作成、摂食状態の維持・改善に努めるとともに、感染症予防に繋げる。</p> <p>&lt;入浴管理支援&gt;          入居者個々の状態に合った入浴方法にて週2回実施を行う。体調不良時は清拭を行い清潔保護に努める。</p>	<p>る。</p> <p>口腔ケア方法の設定と状態変化による見直し。</p> <p>実施方法の設定と状態変化に対する検討を行う。</p>	<p>合 30% 未満。</p>	<p>・口腔・栄養スクリーニング加算。</p>
---	--	----------------------	-------------------------

<給食・栄養支援サービス>

担当職種：栄養士・調理員・看護師・支援員(介護員)の連携により実施します。

関係委員会：給食委員会(3ヶ月/1回開催)

実施内容(具体的内容)	個別支援計画	KPI	取得加算
<p>栄養士による嗜好調査をケア会議時に合わせ調査書を基に実施する。残食の多い献立については栄養士が内容を見直し、調理員は調理方法などを検討し、残食量の減少に努める。</p>	<p>摂取状態に合わせた食事形態の提供を行う。</p>	<p>毎月の平均残食量            朝：0.5 kg            昼：0.8 kg            夕：0.7 kg            未満とする。</p>	<p>・口腔・栄養スクリーニング加算。</p>
<p>BMI 値が 18.5%以上の入居者でも体重の減少や、食事量の低下がみられる場合は、給食会議時に情報</p>	<p>目標値内にあるか定期の体重測定を実施する。</p>	<p>BMI 値が 18.5%未満者割合</p>	

共有を行い、看・支援員(介護員)にて日々の様子を観察し、食事形態の変更等で早めの対応を行う。 BMI 値が目標値以下の入居者については、体重測定による経過観察を行い対策について検討する。		を15%以下とする。	
--	--	------------	--

<認知症ケア>

担当職種：嘱託医・看護師・支援員(介護員)・生活相談員・介護支援専門員の連携にて実施します。

関係委員会：自立支援介護委員会（毎月1回開催）

実施内容（具体的内容）	個別支援計画	KPI	
状態を把握し、委員会に於いて、その症状（タイプ）を検討し、状態に応じた対応を行うことで改善に努めQOLの向上を図る。	症状（タイプ）の把握を行い、症状の改善目標を設定する。		・認知症専門ケア加算 ・若年性認知症加算

3. 安全対策実施計画

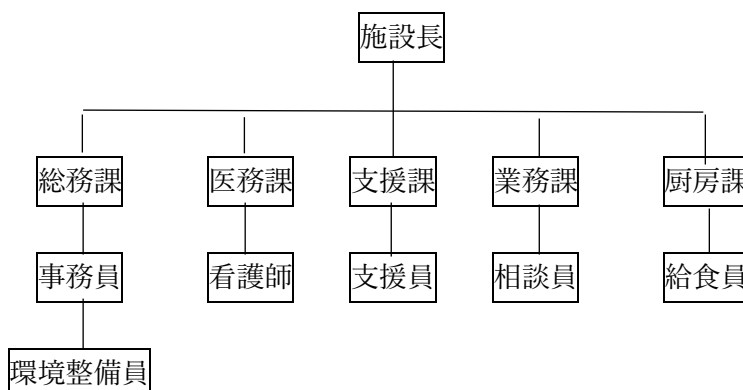
担当課：総務・医務・支援員(介護員)・厨房

関係委員会：防災委員会

実施内容（具体的内容）	KPI
火災、および自然災害、その他、緊急事態などに備え、通報、消火、避難誘導訓練を年2回実施する。講師を招いた防災教育や救急法に関する研修会を年1回計画する。 感染症対策や自然災害等に対するBCPの内容について適宜見直し、必要に応じて改善する。	

#### 4. 組織及び人員体制計画

##### (1) 組織体制計画



##### (2) 人員体制計画 (令和5年度末)

(単位：人)

役職名	令和4年度実績		令和5年度計画					
	正職	非正職	正職	非正職				
施設長	1	(0.5)	1	(0.5)				
課長	1	(1)	1	(1)				
生活相談員	1	(1.3)	1	(1.3)				
介護支援専門員		(0.2)		(0.2)				
看護師	3	(3)	3	(3)	1	(0.2)		
支援員	4	(4)	11	(8.8)	4	(4)	10	(7.8)
栄養士			1	(1)				
調理員	2	(2)	5	(2.5)	3	(3)	4	(2.2)
事務員			1	(1)			1	(1)
環境整備員			1	1(0.8)			1	(0.8)
計	12	(12)	20	(14.3)	14	14	17	(12)

カッコ内常勤換算数

\* 養護と特定施設との合算人員

\* 施設長は総務課長・厨房課長兼務(0.5人分)

\* 業務課長(兼医務課長兼支援課長)は生活相談員・介護支援専門員兼務(0.5人分)

#### [人財育成計画 (研修計画)]

##### (1) 事業所内研修

研修名	対象者	予定人員	研修内容
認知症ケア	全職員	20名	認知症の正しい理解と対応について学び、実践につ

			なげる。
身体拘束、高齢者虐待防止	全職員	20名	定期的なセルフチェックをもとに、身体拘束、虐待の防止に取り組む。
介護技術	看護・支援員	15名	マニュアル、介護実技の確認により統一したケアの提供を行う。
口腔ケア	看護・支援員	15名	基本的知識や技術を学び、疾患予防及び病状悪化防止に取り組む。
感染症対策	全職員	20名	感染症の知識と心構えを学び、予防の重要性を確認する。
救急法	全職員	20名	迅速な救命処置が行えるよう心肺蘇生法、AED使用方法について学ぶ。

(2) 事業所外研修 (外部派遣研修)

研修名	対象者	予定人員	研修内容
リスクマネジメント研修Ⅰ・Ⅱ	係長	1名	果たすべき役割について理解し、問題解決能力を身に付ける。
人事管理研修Ⅰ	主任	1名	人事管理制度や職員育成の仕組みについて理解を深める。
人権・権利擁護研修	主任 一般職	1名	尊厳保持と自己決定を尊重した介護の実践に生かす。
指導的職員研修	主任	1名	職員指導に関する理解や知識の習得について学ぶ。
県老人福祉施設協議会研究大会	全職員	3名	事例研究の発表。 (事例発表(10月)予定)
認知症介護実践者研修	介護実務 経験2年以上	1名	認知症の方に対する質の高いケアについて学ぶ。
認知症介護実践リーダー研修	実践者研修 修了者	1名	認知症介護のリーダー的立場となるよう、研鑽す

	で1年以上経過		る。
--	---------	--	----

(3) 事業所間研修

研修名	対象者	予定人員	研修内容
接遇・マナー	全職員	10名	気持ちの良い職場環境になるためのさらなる接遇・マナー向上を目指す。
ハラスメント	全職員	10名	ハラスメントについて理解を深め、ハラスメントのない職場づくりを行う。

[地域との関係強化計画]

取り組み事項	具体的内容
ボランティア、地域交流事業の受け入れ強化	学校、福祉施設、公民館サークル、ボランティアセンターなどへ依頼し、見学、実習、交流会などを実施する。
施設、備品の有効活用	施設訪問（交流会）を行い、サークル活動発表の場としていただく。 (音楽機材、レクリエーション道具などの貸し出し等。)
公益事業の推進	介護者家族の会、運動教室、認知症教室などの活動地域を拡大する。
災害時などの協力支援体制づくり	近隣地域、自治会、役場などと協議を行い有事の際の支援体制を構築させる。

[生産性向上計画]

(1) 稼働率向上計画

	令和5年度
定員数	50人
利用率	98%

(2) 新加算取得計画

取得加算（実績）	取得加算（計画）
医療機関連携加算	医療機関連携加算
サービス体制提供強化加算Ⅲ	サービス体制提供強化加算Ⅲ
処遇改善加算Ⅰ	処遇改善加算Ⅰ
特定処遇改善加算Ⅰ	特定処遇改善加算Ⅰ
措置費、管理費加算	措置費、管理費加算
科学的介護推進加算	科学的介護推進加算
	口腔・栄養スクリーニング加算
	夜間看護体制加算
	認知症専門ケア加算
	退院・退所時連携加算
	若年性認知症入居者受入加算
	生活機能向上連携加算Ⅰ
	個別機能訓練加算
	ADL 維持等加算

(3) 業務見直し計画

業務見直し計画	期待される成果
節電に努めた業務を実施する。	価格単価の高騰に対し、無駄な電気の使用を抑え料金の削減に繋げる。
見守り機器の導入を検討する。	職員の移動時間短縮と安全性の確保に役立て事故を未然に防ぎ、事故件数の減少に繋げる。
多職種連携による業務分担を行う。	協力体制により、最低限の職員数で業務にあたり、生産性を維持または高める。

[施設等整備計画]

整備分類	実施内容	実施目的	実施時期
器具備品	洗面台給湯器の経年劣化による更新が順次必要。(5 か所予定)	利用者の安全な生活のため、洗面台に内蔵している給湯器を更新する。	8 月までに実施。
施設整備	高圧電気ケーブル及び中開閉器の更新	経年劣化により更新が必要。	9 月までに実施。

施設整備	非常用照明器具の交換 (5~10 か所)	4 年度の点検にて不具合が判明したため交換が必要。	6 月までに実施。
施設整備	床材の張替え (居室 1, 洗面台前床 2 か所) 及び畳表替え (3 か所) 実施。	経年劣化により更新が必要。	4 月から 11 月 までの期間中
施設整備	受水槽機器の更新。	4 年度の清掃点検の際に更新の必要性を指摘された箇所を更新する。	5 月
施設整備	非常用電圧機修理。	定期点検にて修繕箇所があったため。	4 月
施設整備	照明器具を LED へ変更する。(静養室 4, トイレ 10 か所)	計画的に交換を実施する予定。	11 月までに実施。
器具備品	ベッドの更新を行う。	経年劣化により随時ベッドを更新する必要がある。(5 台程度予定)	10 月頃までに実施。
業務委託	草刈、植木の剪定	施設周辺の美化整備のため。	6. 8. 9. 10 月
業務委託	床ワックスがけ	床の保全のため	8 月
器具備品	中庭テラスへ日除け対策として収納式サンシェードを設置する。	外気浴や屋外喫茶等を実施する際の日除け対策のため。	7 月までに実施。

## 「積立計画」

(単位：千円)

積立目的	積立額
再建設	10,600
大規模修繕	0
その他	2,400
計	13,000

**[感染症・災害への対応力強化計画]**

感染症・災害への対応力を強化するため、BCPに基づくシミュレーションや訓練を実施する。

**[特記事項]**

- ・ 第三者評価受審予定。
- ・ 老施協研究大会事例発表予定。

以上

# 令和5年度(2023年度)いわみ西・東・日貫保育所拠点事業計画

[いわみ西保育所・東保育所・日貫保育所]

## I. 事業方針

### 《保育理念》

- ◎ 保育に欠けるすべての子どもにとって、最もふさわしい生活の場を保障し愛護すると共に、最善の利益を守り、保護者や地域と力を合わせ共にその福祉を積極的に増進します。
- ◎ 集団生活の中で一人ひとりの能力を最大限に発揮できるよう、豊かな人間性を持った子どもを育成します。子育て負担感の緩和を図り安心して子育て・子育てができるよう保護者への支援をし、合わせて地域における家庭支援も行います。
- ◎ 児童福祉の推進を図るために、職員は豊かな愛情を持って接し、児童の処遇向上のため、知識の修得と技術の向上に努めます。又、家庭支援の為に常に社会性と良識に磨きをかけ、相互に啓発を行います。

### 《保育方針》

- 一人ひとりの子どもの育ちを支えます  
(現在をもっともよく生き望ましい力の基礎を培います)
- 保護者の子育てを支えます  
(保護者の意向を受け止め子どもと保護者の安定した関係に配慮し援助します)
- 子どもと子育てにやさしい地域を作ります  
(地域とのふれあいや連携を図ります)

### 《保育目標》

- ～心豊かにたくましく生きる子ども～
- ・いきいき遊び、やる気とやりぬく気力のある子ども
- ・人の話をよく聞き、自分の思いを伝えられる子ども
- ・思いやりと感謝の気持ちを持つ子ども

## II. 事業目標

### 1. 利用者サービスの充実

保育所保育指針に基づいて保育を行っていきます。「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」の各領域に沿って、発達に応じたかかわりを行い、養護と教育を一体的に展開し、保育士が子どもを一人の人間として尊重し、深く愛し、守り、支えていきたいと思えます。乳児保育については、この時期の発達の特性を踏まえ、生活や遊びが充実することを通して、身体的・社会的・精神的発達の基盤を培えることができます。幼児保育については、指針に示されている「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を目指し、認知的能力だけではなく非認知的能力を高めるために「知識及び技能の獲得」「思考力、判断力表現力などの基礎」「学びに向かう力、人間等」を育むことを目標とします。新型コロナウイルスの影響もありますが、この時期の子どもたちにとって必要な活動や経験は、かけがいのないものとなり出来る限り機会を作ってまいります。また、子どもたちを支えていく上で、保護者との連携も重要なものとなり、保護者との信頼関係を築きながら、保護者支援を行っていきます。

KGI(重要最終目標指標)	指標の名称	算出式	指標値
	非認知的能力の育成	—	—

非認知的能力は人格形成に係るものであり、認知的能力とは違い本来数値化し 難い能力であり、日常の保育を通じて育まれるものです。つまり、日常の保育環境（職員の園児への接し方や保育所の物理的環境等）が影響することになります。このため、目標値は設けません。

### 2. 地域社会との関係性強化

地域に育まれる保育所として、地域の方々との交流を進め、保育所でなければ体験できない貴重な経験の場を子どもたちに提供していきます。コロナ禍で交流が難しくなっており関係性が薄まってきていることに対し、SNSの活用などを通して保育所から地域への情報発信を行い、地域との関係性が弱まることの無いよう積極的に取り組むこととします。

KGI(重要最終目標指標)	指標の名称	算出式	指標値
	地域社会との関係性強化	—	—

### 3. 生産性の向上

今後子ども数の減少等を見据えると、職員数を増やさないなかで、より良い保育を実施していくためには、業務効率を上げていくことが必要となってきます。しかしながら、現在インクルーシブ保育の重要性も挙げられており、子どもの多様化に対して、寄り添いながら保育を進めていくことも大切であると考えております。そのためにも昨年から導入しているICTの活用度を高め、間接的業務の時間を減らす中で、子どもとの直接的な関わりを多く持ち、生産性の向上と保育の質の向上を目指します。

#### ① いわみ西保育所拠点

KGI (重要最終目標指標)	指標の名称	算出式	指標値
	人時生産性	87,853 千円 ÷ 40,365 時間	2.17 千円
	労働生産性	87,853 千円 ÷ 21.2 人	4,144 千円

#### ② 東保育所拠点

KGI (重要最終目標指標)	指標の名称	算出式	指標値
	人時生産性	75,030 千円 ÷ 36,556 時間	2.05 千円
	労働生産性	75,030 千円 ÷ 19.2 人	3,907 千円

#### ③ 日貫保育所拠点

KGI (重要最終目標指標)	指標の名称	算出式	指標値
	人時生産性	23,258 千円 ÷ 11,995 時間	1.93 千円
	労働生産性	23,258 千円 ÷ 6.3	3,691 千円

算出式：算出式：人時生産性＝付加価値額 ÷ 総所定労働時間

総所定労働時間＝所定労働日数（238日）×8H×総職員数（常勤換算数）

労働生産性＝付加価値額 ÷ 総職員数（常勤換算数）

### Ⅲ. 事業計画

#### [サービス計画]

#### 1. 利用者(入所者)計画

<いわみ西保育所>

##### (1) 利用率・稼働率計画 (令和5年度末)

定員数	計画数	利用率・稼働率 (KPI)
100名	96名	96%

※今年度より利用定員数を100名に引き下げております。

##### (2) 利用者構成計画 (令和5年度末)

クラス別	計画数	構成割合
0歳児	8名	8.3%
1歳児	13名	13.6%
2歳児	11名	11.4%
3歳児	13名	13.6%
4歳児	20名	20.8%
5歳児	31名	32.3%
計	96名	100%

<東保育所>

##### (1) 利用率・稼働率計画 (令和5年度末)

定員数	計画数	利用率・稼働率 (KPI)
60名	64名	106.7%

##### (2) 利用者構成計画 (令和5年度末)

クラス別	計画数	構成割合
0歳児	10名	15.6%
1才児	6名	9.4%
2歳児	18名	28.1%
3歳児	11名	17.2%
4歳児	10名	15.6%
5歳児	9名	14.1%
計	64名	100%

<日費保育所>

(1) 利用率・稼働率計画 (令和5年度末)

定員数	計画数	利用率・稼働率 (KPI)
20名	12名	60%

(2) 利用者構成計画 (令和5年度末)

年齢別クラス	計画数	構成割合
0歳児	2名	16.6%
1歳児	3名	25.0%
2歳児	1名	8.4%
3歳児	3名	25.0%
4歳児	2名	16.6%
5歳児	1名	8.4%
計	12名	100%

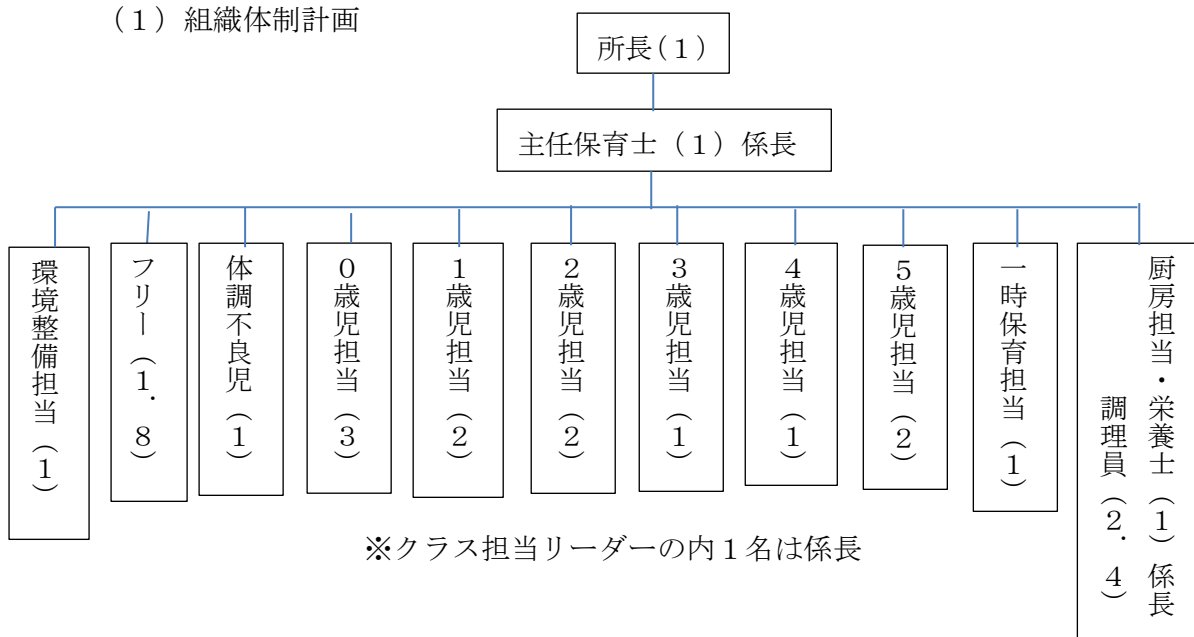
## 2. サービス実施計画

別紙「教育及び保育の内容に関する全体的な計画 (案)」のとおり実施する。

### 3. 組織及び人員体制計画

<いわみ西保育所>

#### (1) 組織体制計画



#### (2) 人員体制計画 (令和5年度末)

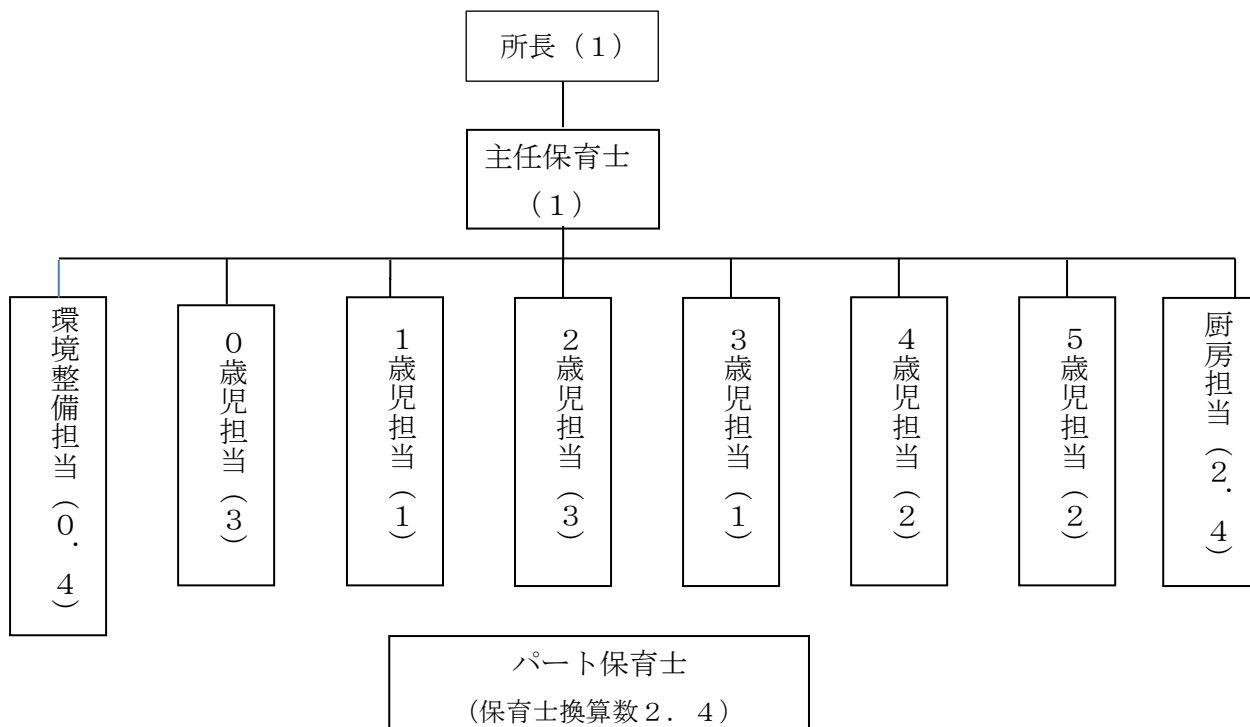
(単位：人)

役職名	令和4年度実績		令和5年度計画	
	正職	非正職	正職	非正職
所長	1		1	
主任保育士	1		1	
保育士	11	3(3.0)	10	3(2.8)
子育て支援員		2(2.0)		1(1.0)
管理栄養士	1		1	
調理員		4(2.4)		3(2.4)
看護師		3(1.2)		3(1.0)
清掃員		1(1.0)		1(1.0)
計	14	14(9.6)	13	11(8.2)

カッコ内常勤換算数

<東保育所>

(1) 組織体制計画



(2) 人員体制計画 (令和5年度末)

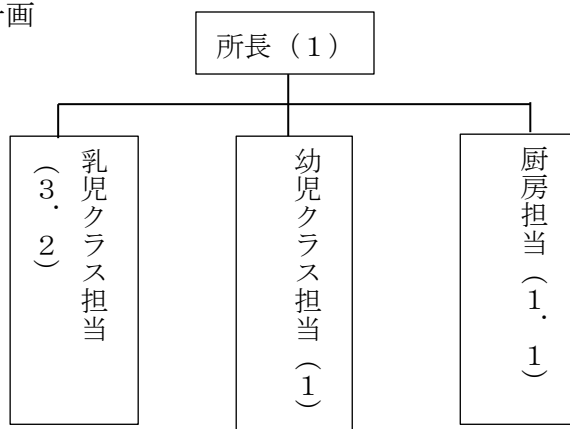
(単位：人)

役職名	令和4年度実績		令和5年度計画	
	正職	非正職	正職	非正職
所長	1		1	
主任保育士	1		1	
保育士	5	10 (6.7)	5	10 (7.4)
子育て支援員		2 (2.0)		2 (2.0)
調理員	1	4 (1.4)	1	4 (1.4)
清掃員		3 (0.4)		2 (0.4)
計	8	19 (10.5)	8	18 (11.2)

カッコ内常勤換算数

<日貫保育所>

(1) 組織体制計画



(2) 人員体制計画 (令和5年度末)

(単位：人)

役職名	令和4年度実績		令和5年度計画	
	正職	非正職	正職	非正職
所長	1		1	
保育士	1	6 (3. 2)	1	6 (3. 2)
調理員		2 (1. 1)		2 (1. 1)
計	2	8 (4. 3)	2	8 (4. 3)

カッコ内常勤換算数

[人材育成計画 (研修計画)]

(1) 事業所内研修 (石見さくら会保育研究会)

研修名	対象職位	予定人員	研修目的
調理担当者研修	栄養士 調理師	5名	調理技術の向上を図る。
実技研修	保育士	20名	会員の保育技術の向上を図る。
保育研修	全職員	35名	子どもの発達や関わり方を学ぶ。
救急法講習会	全職員	35名	救急法を実践で役立つよう学ぶ。
防犯訓練	全職員	35名	不審者に対する職員の意識と対応方法等を学び役立てる。
年齢別、主任、調理師話し合い (隔月)	全職員	40名	保育所間で情報交換、情報共有を行い日々の保育の向上を図る。

## (2) 事業所外研修 (外部派遣研修)

研修名	対象職位	予定人員	研修目的
邑南町保育研究主催			
実技研修	全職員	20名	未定
邑智郡保育研究会			
邑智郡保育研究会総会	全職員	35名	未定
研究大会	全職員	35名	未定
実技研修	保育士	20名	未定
島根県保育協議会			
保育士キャリアアップ研修 【乳児保育】	保育士	3名	乳児保育のねらいや関わり方を学び保育の充実を図る。
保育士キャリアアップ研修 【幼児教育】	保育士	3名	幼児教育のねらいや内容等を学び心身の発達を援助する。
保育士等キャリアアップ 【障害児保育】	保育士	3名	障害の理解と正しい支援の方法を学ぶ。
保育士等キャリアアップ 【食育・アレルギー】	保育士 栄養士	3名	栄養やアレルギー等について学び子どもの食生活や食育計画に生かす。
保育士キャリアアップ研修 【保健衛生・安全対策】	保育士 看護師	3名	子どもの衛生的で安心安全な環境作りの為の対応策を学ぶ。
保育士キャリアアップ研修 【保護者支援・子育て支援】	保育士	3名	保護者との関わり方、支援方法などを学ぶ。
保育士キャリアアップ研修 【新任保育士向け保育実践】	保育士	1名	保育士としての子どもや保護者との関わり方等を学び保育に生かす。
全国保育研究大会	全職員	3名	未定
保育者研修会	保育士	3名	未定
県主任・調理師研修会	主任保育士 調理師	3名	未定
県所長研修	所長	3名	未定
島根県福祉人材センター主催			

指導的職員研修Ⅰ・Ⅱ	保育士・ 係長	2名	4級昇格・資格要件研修
OJT推進研修	係長・所 長	4名	4級昇格・資格要件研修
人権・権利擁護研修	係長	5名	4級昇格・資格要件研修
人事管理研修Ⅰ・Ⅱ	所長	2名	5級昇格・資格要件研修
労務管理研修	所長	2名	5級昇格・資格要件研修
メンタルヘルス研修Ⅱ	係長	1名	5級昇格・資格要件研修
リスクマネジメント研修Ⅰ・Ⅱ	所長	1名	5級昇格・資格要件研修
メンタルヘルス研修	全職員	15名	心身共に健康的で働きや すい職場を作る。
リスクマネージャー養成講 座	所長	1名	リスクマネジメントにつ いて学び活かす。
エルダー制度研修	保育士	1名	エルダー制度を学び新人 職員育成に当たる。
石見養護学校研修会	保育士	5名	障がい児について専門的 に学ぶ。

※リモート研修含む

### (3) 事業所間研修

研修名	対象職位	予定人員	研修目的
人権研修	全職員	20名	人権・権利擁護について理解を 深め職場環境作りに生かす。
接遇・マナー研修	全職員	20名	ご利用者や職員間の関係作りの スキルを身につける。
ハラスメント研修	全職員	10名	ハラスメントを理解し気持ちよ い職場環境を作る。

### [地域との関係強化計画]

実施事項	実施内容（具体的内容）	KPI
ボランティアの積 極的受入れ	・ボランティア募集を計画的に行う。 (園児と一緒に草取り・畑作り・干し柿作りなど)	

[生産性向上計画]

実施事項	実施内容（具体的内容）	KPI
ICT化の活用	ICT化（「はい！チーズ」システム）のさらなる活用によって間接業務の時間短縮に取り組む。（登降所の時間管理、保護者からの欠席連絡、個別連絡帳の記載、保護者への緊急連絡など）事務効率を上げ、時間の有効活用で生産性を上げていく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務の効率を上げる。</li> <li>・保護者への情報発信力を高める。</li> </ul>

[施設等整備計画]

<いわみ西保育所>

整備分類	実施内容	実施目的	実施時期
施設整備	・和式便器から洋式便器への改修工事（3歳児横トイレ1機）・梅組横トイレ2機）	・園児家庭では洋式便器が主流であり、和式便器が使用されないため、洋式便器に変えて、使用したい。	6月
施設整備	・乳児室手洗い場カラートイレ交換工事	・乳児の手が届かず、手洗いが難しいため、カラートを長いものに取り換える。	4月
施設整備	・駐車場園庭門付近の照明増設	・冬場の迎時に外灯がなく、保護者の迎えがわかりにくいいため照明を設置したい。	5月
保育備品	・午睡時の睡眠チェック機の導入 （睡眠チェック機9台レンタル契約） （確認用タブレット1台購入）	・乳児は午睡時に5分ごとの睡眠チェックを行っているが、園児一人ひとりに個別に機器をつけることで、保育士の時間負担、精神的負担を軽くする。	4月
保育備品	・遊具の購入	・子どもの発達に必要な遊具（ブロック・人形・ままごと遊び道具など）を	随時

		随時購入する。	
保育備品	・絵本の購入	・絵本を購入し、子どもの成長を支える。(各クラスに必要なものを随時購入)	随時

<東保育所>

整備分類	実施内容	実施目的	実施時期
施設整備	・高圧気中開閉器更新工事	・交換推奨年数から7年超過して更新が必要な為。	6月
施設整備	・東保育所裏駐車場舗装工事	・各マンホール周辺の陥没で段差となり、雨天時には広範囲に水溜りができる為。	5月
リース物件	・印刷機のリース契約	・リモート研修など資料の印刷物が多くなった為。	5月
保育備品	・0歳児に午睡チェック器具を導入する。	・SIDSのチェックの安全性を高める為。保育士の時間的、精神的負担を軽減する為。	5月
施設整備	・テラスの修繕	・裏テラスの腐食部分を修繕し、安全に遊べるようにする。	6月
施設整備	・固定遊具の修繕	・腐食が進んでいる個所を修繕し、安全に遊べるようにする。	5月
施設整備	・駐車場の外灯の更新	・水銀灯が生産中止になった為。	6月
保育備品	・テーブルやロッカーの購入	・クラスの人数に合わせてテーブルやロッカーを購入する。	4月
保育備品	・玩具の購入 ・絵本の購入	・乳幼児の破損した玩具の入れ替えや発達に伴い	随時

	乳幼児用絵本の補充 ・自然観察や道徳性のある絵本 ・紙芝居の補充	必要な玩具を購入する。 ・乳幼児の破損した絵本や乳幼児の発達に伴う絵本を購入する。	
保育備品	・2歳児クラスに電子ピアノを購入 ・古いオルガンの破棄	・オルガンの老朽化の為電子ピアノに更新する。 ・老朽化したオルガンを破棄する。	5月
保育備品	・食器類 ・調理器具の更新	・老朽化している調理に必要な備品や破損した食器類を更新する。	4月
施設整備	・棚の設置（桜組）	・作品や備品を置く棚がない為。	4月
保育備品	・サッカーゴール幼児用	・旧園舎からのもので老朽化が進み更新する。	5月

<日貴保育所>

整備分類	実施内容	実施目的	実施時期
施設整備	・コンセント増設（事務室、保育室、ほふく室）	・コンセント不足によるたこ足配線の改善。	5月
施設整備	・園庭倉庫の設置	・三輪車等の遊具を片付ける倉庫が狭く、老朽化しているため、広い屋根付きの倉庫を園庭に設置する。	6月
施設整備	・保育室（幼児組）エアコン更新	・冷房のみのエアコンを、冷暖房付きのエアコンに更新し、機能性面を考える。	7月
保育備品	・絵本の購入 ・玩具の購入	・季節や子どもの発達にあった絵本・紙芝居を購入。 ・子どもの感性や成長を育む玩具を購入。	随時

施設整備	トイレの交換工事 (和式から洋式へ)	・洋式用トイレが一箇所 しかなく不便なため。和 式を洋式に変えることで 利便性を良くする。	5月
------	-----------------------	--	----

「積立計画」

(単位:千円)

積立目的	積立額(いわみ西)	積立額(東)	積立額(日貫)
再建設	1, 8 2 0	3, 5 1 0	0
大規模修繕	2 8 0	5 4 0	0
その他	2 1 0	4 0 2	0
計	2, 3 1 0	4, 4 5 2	0

【感染症・災害への対応力強化計画】

- ・別紙「教育及び保育の内容に関する全体的な計画（案）」のとおり実施する。

【特記事項】

- ・特になし

以上

## 〔東保育所拠点地域子育て支援センター〕

### I. 事業方針

#### ＜支援理念＞

地域の子どもの健やかな育ちを実現することができるよう、子育て家庭が抱える育児不安や孤独感を軽減し、子育ての楽しさや成長の喜びを感じることができるよう支援します。それを踏まえ、子どもの育ちを家庭と連携して支援し、子育て家庭の養育力の向上に努めます。又、地域社会及び子育て支援団体・各機関と連携を図り、地域と親子をつなぐ架け橋となって地域の子育て力向上にも貢献します。

#### ＜支援方針＞

- ・親子の絆を深めるため、子育て親子の交流の場として在宅親子が安心できる居場所となるよう努めます。
- ・子育ての不安や悩みに寄り添い、場合によっては関連機関と連携を図って援助します。
- ・子育てサークルや子育て支援団体と連携を図り交流活動を支援します。
- ・地域の子育て支援関連情報を提供し、様々な保護者支援の輪を広げます。

### II. 事業目標

在宅親子同士や専門職との交流を通じて在宅親子の孤立感や不安感を軽減していく。

### III. 事業計画

#### [サービス計画]

##### 1. 利用者計画

利用率・稼働率計画（令和5年度末）

在宅親子数	利用計画数	利用率（KPI）
29組	29組	100%

今後出生があると、在宅親子数は増えていきます。

## 2. サービス実施計画

### <子育て親子の交流の促進>

実施内容（具体的内容）	KPI
<p>○在宅親子の交流を図り、子育ての孤立防止を図るために子育て支援室『すくすく』を開所し、在宅の親子がゆったりと過ごせる環境の場を提供する。</p> <p>毎週 月曜日～金曜日開所 (9:30～11:30、13:30～16:30)</p>	
<p>○保育所在園児と在宅親子が交流することで、自分の子どもの発達を客観的に捉えると共に、保育所の様子を知り、入所への安心感に繋げるために、各保育所に開放日を設ける。</p> <p>いわみ西保育所・・・親子サロン (月1回午前中)</p> <p>東 保育所・・・わくわくデー (月1回午前中)</p> <p>日貫保育所・・・ぴよぴよデー (月1回午前中)</p>	

### <子育てに関する相談・援助>

実施内容（具体的内容）	KPI
<p>○来所や電話による子育て等に関する相談・援助を常時行う。</p> <p>(8:30～17:00)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 邑南町の保健師との情報共有を図り、よりの確な支援を実施する目的と、町内全体の親子と触れ合いをもちながら悩みを聞いたり、生活習慣や子どもとのかかわり方等の助言を行うために、町の乳幼児健診に担当保育士が参加する。</li> <li>・ 支援センターやファミリーサポートセンター「さくらんぼクラブ」の案内をして、子育て事業を周知してもらい、地域の子育て家庭を支える役割の一環として積極的に取り組む。</li> </ul>	

<地域へ子育て関連情報の提供>

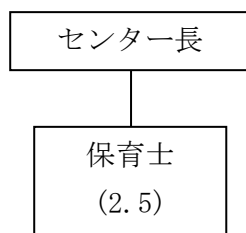
実施内容（具体的内容）	KPI
<p>○より多くの在宅親子に利用していただけるよう支援センターの活動案内等の情報発信を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機関誌『すくすく』『月の行事』を在宅親子に毎月発行する。</li> <li>・地域の民生委員や公民館などにも送付する。</li> <li>・地域の公共の場や病院、保健センターなどにも掲示させていただく。</li> <li>・広報紙『さくらだより』での情報発信。</li> <li>・ホームページにて支援センターの活動案内を掲載する。</li> <li>・子育てに関する講演会やイベントの案内を配布する。</li> <li>・無線放送で支援センターの活動をお知らせし、地域を超えた町内の在宅親子に呼びかけて活動内容を発信する。</li> <li>・赤ちゃんが誕生したご家族や、石見地区に転居された方に『子育て支援センター』の案内を送付する。</li> </ul>	

<子育て及び、子育て支援に関する講座の実施>

実施内容（具体的内容）	KPI
<p>○在宅親子同士の交流を通して、相互支援となるよう働きかけるとともに、専門職と連携し、保護者が子どもの発達状況を知り、我が子への興味や関心を高め養育力や知識の向上を図り不安感の軽減に繋げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アートデー（月1回） <ul style="list-style-type: none"> <li>…絵画・製作活動、感触遊び</li> </ul> </li> <li>・わらべうた遊び・絵本の紹介（毎月1回）…親子でのふれあいの推進、母親への支援</li> <li>・3B体操、リズム遊び（隔月1回） <ul style="list-style-type: none"> <li>…親子の触れあい、母親のリフレッシュ</li> </ul> </li> <li>・出前講座（月1回） <ul style="list-style-type: none"> <li>ベビーマッサージ、歯の指導、離乳食の指導相談、育児相談、離乳食講座</li> </ul> </li> </ul>	

### 3. 組織及び人員体制計画

#### (1) 組織体制計画



#### (2) 人員体制計画 (令和5年度末)

(単位：人)

役職名	令和4年度実績		令和5年度計画	
	正職	非正職	正職	非正職
センター長				
嘱託保育士		1(1.0)		
保育士		3(2.1)		4(2.5)
計		4(3.1)		4(2.5)

カッコ内は常勤換算数

センター長は東保育所長の兼務とするが、人数にカウントしない。

#### [人財育成計画 (研修計画)]

##### (1) 事業所内研修

研修名	対象者	予定人員	研修内容
救急法講習会	全職員	3名	現場で役立つ救急法を学ぶ。
防犯訓練	全職員	2名	不審者侵入時の職員の対応連携を学び実践に繋げる。
実技研修	全職員	1名	未定

##### (2) 事業所間研修

研修名	対象者	予定人員	研修内容
人権研修	全職員	1名	人権尊重の為の知識を学ぶ。
食の推進研修	全職員	1名	食生活の改善を図る。
接遇研修	全職員	1名	人とのより良い関係を築くスキルを学ぶ。

[地域との関係強化計画]

実施事項	実施内容（具体的内容）	KPI
地域の子育て関連事業への参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に出向き、親子交流活動や子育てサークルの援助を行う。</li> <li>瑞穂子育て支援センターとの交流</li> <li>こぐまクラブの活動支援</li> <li>・地域の団体や福祉施設との交流を行う。</li> </ul>	

[生産性向上計画]

- ・保育所と同じ

[施設等整備計画]

整備分類	実施内容	実施目的	実施時期
保育備品	絵本や玩具を 購入	絵本や玩具が痛んでいる為 入れ替える。	5月

[感染症・災害への対応力強化計画]

- ・東保育所と同じ

[特記事項]

- ・特になし

以上